



ともしび

世田谷区立三宿中学校
夜間学級だより 5 月 号
平成 22 年 5 月 31 日
校長 岩崎 正道



躰について

副校長 上原 正一

「躰」という字は日本で創られた字で、中国にはない字だそうですが、よく考
えて創られた字であると思います。

「しつけ」は行儀・作法などのよい習慣が身につくことで、その結果として、
その人の身のこなしや動作が美しく感じられる、ということから「躰」という字になっ
たようです。

この躰についてのことですが、どうも日本では、子供が小さい頃はちやほやとかわい
がられて、少し大きくなってから厳しくされる傾向があると思います。

諸外国では正反対で、小さい頃は厳しくしつけられますが、大きくなるにしたがって、
人格が認められ、対等に大人として扱われているようです。

どちらがいいかは別として、日本のやり方ですと、幼少の時には何かを「しつづける」
ことを教えられず過ごしてしまうようです。そして、中学生の頃になって、何でも「押
しつけられる」ことになりがちです。やはり、「鉄は熱いうちに打て」の諺のように、何
でも初めにきちんと躰をすることが大切です。

また、「叱るよりほめよ」「叱るのは三分、ほめるのは七分」などと言われます。私も
その通りであると思いますが、実際に自分の子供となると、なかなかそう理想的にいかな
いのが現実の姿です。親の期待もあるのですが、悪い所、直してもらいたい所ばかり
が目につき、つい出てくるのが「叱る言葉」ばかりというわけです。

さらに、本来「後ろ姿を見て育つ」と言われるように、親の言う通りにはしないが、
することは真似するものです。ですから、子供を見れば、良い所も悪い所も親の姿が想像
できるというわけで、私なども、よく反省させられます。

とにかく、自分の子供のしつけについては、誰でも苦労するものです。手遅れと言わず、
範を示し、行動して、子供を感化していくことが先決であろうと考えます。若年層が7割
を占める夜間学級になりました。皆様のご家庭ではいかがでしょうか。

(年度初めに)

さて、平成22年度がスタートして二ヶ月が経ちました。三宿中学校夜間学級
で学んでいる生徒は年齢層や国籍、居住地などは、多岐にわたっています。

誰もが人として尊重され、幸福な生活を送る権利をもっています。道德の授業
でもお話ししたように、お互いに相手のことを十分に考え、自分を反省していく姿勢を持
ちながら、一生懸命学習に励んでください。

今の三宿中学校夜間学級にどのような生徒がいるかということを改めて知ってほしい
と思います。



(1) 生徒の状況

① 生徒数（107名）

	通常学級			日本語学級		
	男子	女子	計	男子	女子	計
1年	1	1	2	2	2	4
2年	5	6	11	7	17	24
3年	23	26	49	7	10	17
計	29	33	62	16	29	45

② 年齢別

		16~	20~	30~	40~	50~	60~	70~	80~	合計
通常学級	男	23	4				2			29
	女	11	7	1	4	5	1	4		33
日本語学級	男	11	3		1		1			16
	女	10	6	7	5	1				29
計		55	20	8	10	6	4	4		107

③ 国籍別（14カ国）

	日本	中国	フィリピン	韓国	タイ	台湾	ベトナム	カメルーン	ロシア	インド	ウズベキスタン	トルコ	ネパール	マダガスカル	合計
通常学級	17	29	3	3	3	1	2	1		2				1	62
日本語学級	3	29	4						1	2	1	1	4		45
計	20	58	7	3	3	1	2	1	1	4	1	1	4	1	107

④ 居住地（12区・7市・2県）

居住地	世田谷区	港区	品川区	目黒区	渋谷区	新宿区	杉並区	豊島区	北区	板橋区	練馬区	中野区	府中市	三鷹市	清瀬市	調布市	狛江市	稲城市	町田市	神奈川県	埼玉県
人数	17	1	5	4	5	18	5	10	1	4	13	4	1	3	1	2	1	1	1	5	5

公開授業週間を終えて

5月16日（日）から21日（金）までの5日間、公開授業が行なわれ、この期間で、135名の方が参観に訪れました。

参観者の感想に、下記のような文章が多くありました。

(授業について)

分からないところを丁寧に教えていたので、きちんと理解できて、次のステップに進んでいくという印象を受けました。生徒さんの発表も多くて、明るい雰囲気でした。年齢・国籍に関係なく真剣に学ぶ様子がみられ、「学びたい」という思いがもつ力は凄いなど感動しました。先生方の「うん、そうだね」「良いよ、良いよー」など認めて褒めるところも印象に残りました。

(授業以外について)

生徒さんがきちんとあいさつが出来て、ドアの前で見ていたところ「どうぞ」と言って開けてくれました。心遣いが、とても嬉しかったです。日本語学級の皆さんに、校歌を歌っていただき感謝しました。学校が、ただ教科を勉強するだけの場ではないことを、改めて実感しました。本当に来て良かったと思いました。

多くの方が、一生懸命に勉強している姿を見て、感動して帰って行きました。引き続き学校生活に積極的に取り組んでいきましょう。

